

医療・介護・高齢者について

集える場所づくり

住みなれた場所で住み続けることができるように町民で助け合える町づくりができたら嬉しい。困ったときに頼れる場所があったら嬉しい。集まりやすい場所がほしい。

回答

地域における協働の拠点として、ふれあい交流センターを整備し、各地区まちづくり協議会のもと、それぞれの地域課題の解決のための取組が実施されています。

東飯田地区・南山田地区では、社会福祉協議会のご協力により、「くらしのサポートセンター」が設置されているとともに、多世代が交流する「寄り合いカフェ」や「地域ふれあい食堂」などの取組も行っています。

●地域ふれあい食堂の開催日は、無線放送・データ放送でお知らせいたします

緊急体制・医療体制の充実

17時を過ぎたら町内、郡内診療がほとんどできない。独居老人が増える中、相談する環境も少ない。救急車を呼ぶ程ではないが、心配な症状があった時など、とても不安。

回答

健康に関する相談につきましては、住民の方であれば電話による相談「このえ健康ダイヤル」を利用していただくことが出来ます。

カウンセラーが24時間年中無休で対応いたしますので、是非ご利用ください。

このえ健康ダイヤル

24 0120-511-658

- ★ 24時間年中無休
- ★ 通話料無料
- ★ 心や体の健康、また休日・夜間の医療機関情報や病気やけがへの対処の仕方、お子さんの急病等の対処方法等を、医師や保健師等の専門職がアドバイスします



農業・観光について

農地の管理

農地を管理するにも機械を買わなければと考える。行政が全面的にバックアップ（機械の貸し出しなど）色々これからについて考えてもらいたい。

回答

農地の維持管理に関しては中山間地域等直接支払制度等の補助事業の活用を推進しています。また令和2年度に立ち上げました「九重町地域農業サポート協議会」では補助事業における事務代行を行っています。機械の貸し出しは行っていませんが、今後は草刈りなどの相互扶助活動も協議会にて行うことも検討しています。

●九重町地域農業サポート協議会については、農林課（☎76-3804）までご連絡ください

S N S の活用

観光PRでインターネットなどをもっと活用すればいいのになと思います。せっかく、たくさんある観光資源をもっとSNS等を使って活用できると良いなと思います。

回答

観光PRについては、ホームページをはじめFacebook等のSNSを活用して、PRを行っています。また、町独自の取組に加え、由布市・九重町・玖珠町・日田市の4市町が連携した情報発信（インスタグラム）も行っています。今後も町内の観光資源を活用してさらなる情報発信に努めます。



Instagram
九重町観光情報
(kokonoetourism)



Instagram
ユフコクスヒタ
(yufu_koko_kusu_hita)